

戦没画学生慰霊美術館 無言館 画

[⌂ \(/index.php\)](#) [📍 県内博物館のご案内](#) [📍 戦没画学生慰霊美術館 無言館](#)



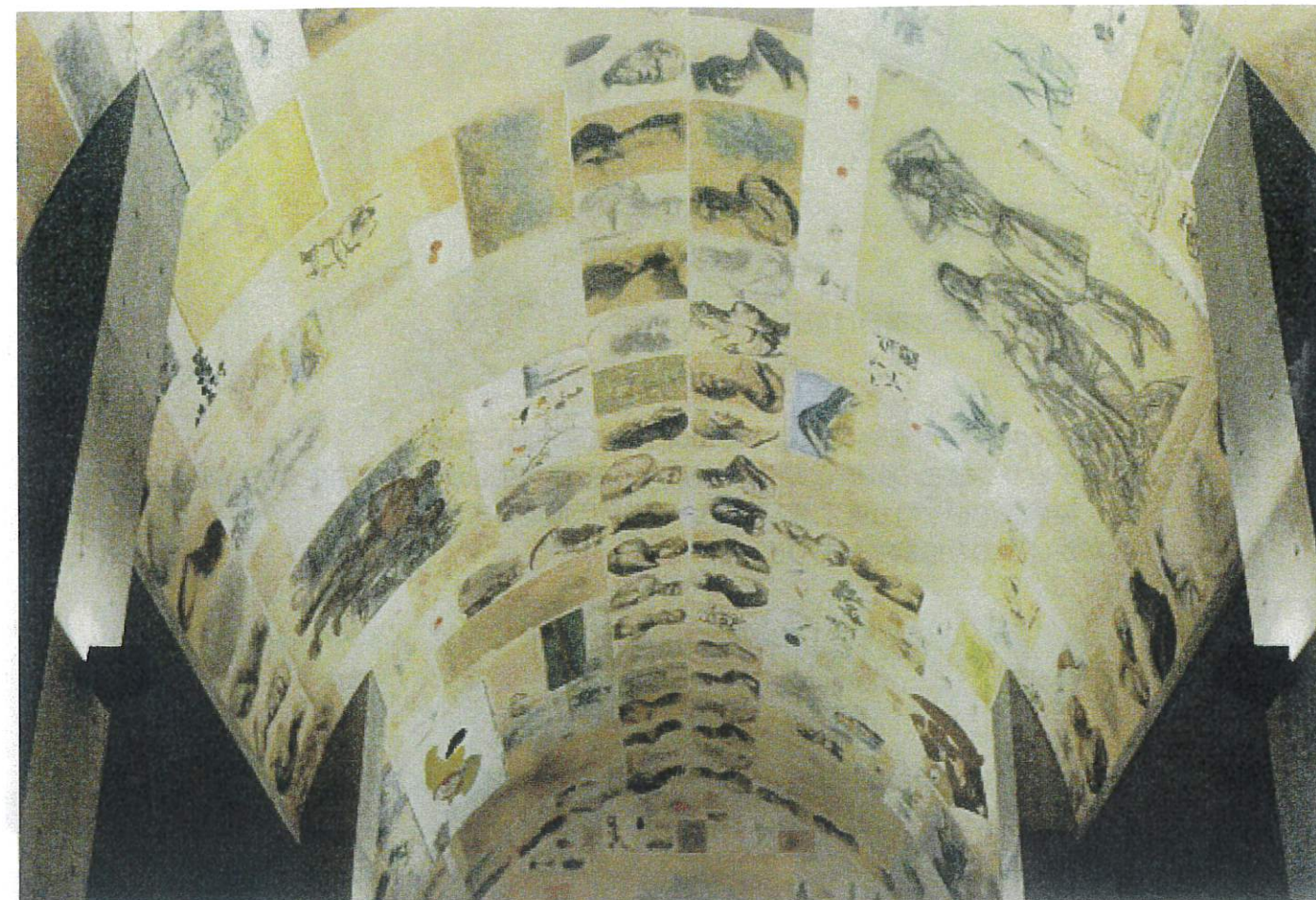
伊澤洋「家族」(1940年制作)

住所

〒386-1213 上田市古安曽3462

TEL

0268(37)1650



第二展示館「傷ついた画布のドーム」内観

戦没画学生慰霊美術館 無言館の企画展・イベント情報

2017-10-01～0000-00-00 画 天満敦子in「無言館」ヴァイオリンコンサートvol.19

(../news/event_detail.php?id=78)

2017-08-14～2017-08-16 画 「千本の絵筆」の祈り (../news/event_detail.php?id=76)

戦没画学生慰霊美術館 無言館の企画展・イベント情報

主な展示品

[一覧にもどる
\(area.php?tn=0\)](#)

[ご利用規約 \(http://www.nagano-museum.com/sitepolicy.php\)](http://www.nagano-museum.com/sitepolicy.php)

FAX

0268(37)1651

開館時間

9:00～17:00

休館日

毎週火曜休(祝日の場合は翌日)

料金

一般1,000円/高大生800円/小中生100円(第二展示館と共通)
信濃デッサン館との共通鑑賞券 一般1,500円/高大生1,000円/小中生100円(信濃デッサン館、無言館のいずれかをご覧頂いている場合は頂戴しません)
※障がい者の方は割引があります。

駐車場

15台

交通アクセス

上信越道上田菅平により車で30分。上田電鉄別所線塩田町駅下車徒歩30分。

志半ばで散った戦没画学生 情熱や思いが伝わる作品

親しい人を描いた絵

信濃デッサン館の分館として1997年に開館した美術館。

日中戦争および太平洋戦争で戦死した画学生たちの作品や、遺品などの資料を収蔵、展示しています。館内の壁に沿って絵画を展示し、それぞれの作品の近くに画学生たちの手紙、スケッチブック、パレット、手帳、写真などが展示されています。

絵画では、日高安典【ひだかやすのり】(1918～1945)が恋人を描いた『裸婦』。佐久間修【さくまおさむ】(1915～1944)が妻を描いた『裸婦』。太田章【おおたあきら】(1921～1944)が妹を描いた『和子の像』。伊澤洋【いざわひろし】(1917～1943)の『家族』など、恋人や妻、家族など、親しい人を描いた作品があり、エピソードが添えられています。

2008年には隣接地に第二展示館「傷ついた画布のドーム」を開設し、無言館だけでは展示しきれない画学生の作品を展示し、「オリーブの読書館」、レストランを併設しています。



無言館内観